

学校名	只見町立明和小学校	校長	加藤 俊 哉
住 所	南会津郡只見町大字小林字上照岡 1 3 3 6		
T E L	0241-86-2216	ホームページアドレス	

タイトル

「地域に根ざした教育活動の展開
～只見学を身につけた、地域に誇りを持つ子どもの育成～」

取組みの概要

「身近な自然との共生」を目指し、この明和地区だからできる自然の魅力を活かした教育活動を数多く取り入れ、子どもたちが地域を自慢に思い、誇りをもてるようにしています。

内 容

明和の自然は、本当に豊かです。モリアオガエルが昇降口で出迎えたり、ニホンカモシカが登校を見守ったり、オオムラサキが教室に入って授業参観をしたり・・・。

子どもたちにとっては、この環境はまったく当たり前のこと。日常の風景です。

この自然の魅力を活かした明和小の活動を紹介します。

自然観察学習

学区内にある「癒しの森」・「恵みの森」での自然観察学習では、樹齢400年にもなるかという、幹回りが4mを越える大きなブナに触れることができます。近くの沢では、貝の化石が地層になっている場所での化石ほりもできます。自然のすばらしさ・偉大さに、驚きと感動を憶える学習となっていて、子どもたちは大満足です。

自然体験活動

地域の芳の協力を得ながら、田植えや稲刈りなどの体験をしたり、地元特産の野菜や蕎麦の栽培活動をしたりして、地域の農業などへの理解を深めています。

冬になると、校庭や裏山がそのままクロスカントリースキーの練習コースになり、体育の授業や放課後の時間を活用して練習に取り組んでいます。

校庭での雪像づくりも、豪雪地帯ならではの楽しい体験です。



<クロカンの練習風景>



<明和・只見学ルーム>

触れて学ぶ学習

校内に、「明和・只見学ルーム」、「明和っ子わくわく科学館」を開設しています。只見で見られる貴重な動植物や化石の標本、科学的な物作りのおもちゃなどを展示し、子どもたちが身近に触れて学ぶことができる環境になっています。

これらの「只見学」をとおして子どもたちに地域の素晴らしさを感じさせることにより、子どもたちは、地域への誇りを持ち、自信をもって生活する力を身に付けてきています。今後も「身近な自然との共生」を目指した教育活動の実践を目指していきたいとも考えています。

その一端を来年度小教研理科県大会でお見せできればとも考えています。

最後に、「自慢」をもう一つ。県の建築文化賞を受賞している本校の校舎です。

木材を多く使用し、トリプルガラスを使った窓のおかげで、保温効果は高く、マイナス15℃という凍てつく朝でも、校舎の中は二桁の気温を保っています。



<自慢の校舎>